

## 18 学術業績

### A. 国際学会・国際シンポジウム

#### [耳鼻咽喉科]

- 1 (演題名) The roles of type 2 innate lymphoid cells in chronic rhinosinusitis.  
(発表者) Keisuke Uno, Yoshinori Matsuwaki, Kazuhiro Omura, Eika Hayashi, Hirohito Kita, Nobuyoshi Otori, Hiromi Kojima.  
(学会名) The American Academy of Allergy, Asthma & Immunology.  
(開催地、年月日) Houston, USA, Feb, 2015

#### [放射線科]

- 1 (演題名) Cryoablation for small invasive breast cancer. What is appropriate adaptation?  
(発表者) 松井洋  
(学会名) 11<sup>th</sup>-Asian-Pacific Congress of Cardiovascular and Interventional Radiology  
(開催地、年月日) SINGAPORE, May 15-18, 2014

### B. 学会総会

#### [消化器内科]

- 1 (演題名) 当院における大腸悪性狭窄に対する内視鏡ステント留置術の検討  
(発表者) 堀内洋志  
(学会名) 第11回日本消化管学会総会学術集会  
(開催地、開催日) 東京都新宿区、平成27年2月13日
- 2 (演題名) 大腸憩室出血の診断と治療に関する腹部D-CTの有用性  
(発表者) 古橋広人  
(学会名) 第11回日本消化管学会総会学術集会  
(開催地、開催日) 東京都新宿区、平成27年2月13日

#### [腎内科]

- 1 (演題名) 敗血症性肺塞栓から気胸を呈した血液透析患者の1例  
(発表者) 岡部匡裕、宇田川崇、笠井健司、横尾隆  
(学会名) 第59回日本透析医学会学術集会・総会  
(開催地、年月日) 神戸市、平成26年6月

- 2 (演題名) 腹膜透析療法(PD)の臨床成績の変遷に関する検討 ～単一施設における27年間の追跡調査～  
 (発表者) 勝俣陽貴、宇田川崇、高橋大輔、春原浩太郎、笠井健司、横尾隆  
 (学会名) 第59回日本透析医学会学術集会・総会  
 (開催地、年月日) 神戸市、平成26年6月
- 3 (演題名) 富士市透析防災ネットワークの展開(第3報)  
 (発表者) 笠井健司、中村一賀(富士第一クリニック)、内田光一(聖隷富士病院)、山内康裕(新富士病院)、金井直明(東名富士クリニック)、加藤伸之輔(加藤クリニック)、野口武雄(共立蒲原病院)  
 (学会名) 第59回日本透析医学会学術集会・総会  
 (開催地、年月日) 神戸市、平成26年6月
- 4 (演題名) 行政・専門病院・医師会の連携によるCKD地域医療連携体制の設立とその実績  
 (発表者) 笠井健司、宇田川崇、内田光一(聖隷富士病院)、山田秀生(山田医院)  
 (学会名) 第57回日本腎臓学会学術総会  
 (開催地、年月日) 横浜市、平成26年7月
- 5 (演題名) 富士市CKDネットワーク稼働後の当院におけるCKD診療  
 (発表者) 宇田川崇、高橋大輔、勝俣陽貴、春原浩太郎、笠井健司、横尾隆  
 (学会名) 第57回日本腎臓学会学術総会  
 (開催地、年月日) 横浜市、平成26年7月
- 6 (演題名) 腹腔鏡下手術にてカテーテル閉塞を解除した3例  
 (発表者) 高橋大輔、宇田川崇、勝俣陽貴、北村博顕、兼平卓、古谷麻衣子、山本和佳、梶本徹也、柏木秀幸、笠井健司、横尾隆  
 (学会名) 第20回日本腹膜透析医学会学術集会・総会  
 (開催地、年月日) 山形市、平成26年9月

[小児科]

- 1 (演題名) N-desmethyloclobazam濃度高値により日常生活に支障をきたす眠気を呈した1例  
 (発表者) 久保田淳、松浦隆樹、浜野晋一郎、井田博幸  
 (学会名) 第56回日本小児神経学会学術集会  
 (開催地、開催日) 浜松市、平成26年5月29～31日
- 2 (演題名) 当科における血液培養採取の現状 —パイロットスタディ—  
 (発表者) 日馬由貴、久保田淳、石川尊士、齋藤義弘  
 (学会名) 第46回日本小児感染症学会総会・学術集会  
 (開催地、開催日) 東京都新宿区、平成26年10月18～19日

- 3 (演題名) 母体除菌後にも関わらず発症した Chlamydia trachomatis 肺炎の1乳児例  
(発表者) 久保田淳、日馬由貴、石川尊士  
(学会名) 第46回日本小児感染症学会総会・学術集会  
(開催地、開催日) 東京都新宿区、平成26年10月18～19日
- 4 (演題名) 対称的な臨床像であった Helicobacter pylori 感染の2症例  
(発表者) 石川尊士、日馬由貴、久保田淳、齋藤義弘  
(学会名) 第46回日本小児感染症学会総会・学術集会  
(開催地、開催日) 東京都新宿区、平成26年10月18～19日

[外科]

- 1 (演題名) 市中病院での胃癌手術患者のmodifiedGlas-gow prognostic score の有用性  
(発表者) 谷島雄一郎  
(学会名) 第114回日本外科学会定期学術集会  
(開催地、年月日) 京都市、平成26年4月3～5日
- 2 (演題名) ポスター「術後合併症」  
(発表者) 柏木秀幸：司会  
(学会名) 第114回日本外科学会学術集会  
(開催地、開催日) 京都市、平成26年4月4日
- 3 (演題名) 腸閉塞を呈した原発性小腸癌の2例  
(発表者) 市原恒平  
(学会名) 第39回日本外科系連合学会学術集会  
(開催地、年月日) 東京都千代田区、平成26年6月19～20日
- 4 (演題名) シンポジウム3-1「腹部領域における鏡視下手術—conventional approach から reduced port surgery へ—」  
(発表者) 柏木秀幸、前原喜彦：司会  
(学会名) 第39回日本外科系連合学会学術集会  
(開催地、開催日) 東京都千代田区、平成26年6月20日
- 5 (演題名) 異なるアプローチで治癒した特発性食道破裂の2例  
(発表者) 谷島雄一郎  
(学会名) 第68回日本食道学会学術集会  
(開催地・年月日) 東京文京区、平成26年7月2～4日
- 6 (演題名) 一般演題ポスター「要望演題 吻合問題1」  
(発表者) 柏木秀幸：座長  
(学会名) 第68回日本食道学会学術集会  
(開催地、開催日) 東京文京区、平成26年7月3日

- 7 (演題名) 乳癌原発巣と転移巣で異なるホルモン感受性を示した3症例の経験  
(発表者) 梶本徹也  
(学会名) 第22回日本乳癌学会学術総会  
(開催地、年月日) 大阪市、平成26年7月10～12日
- 8 (演題名) 下行大動脈による食道通過障害に対して施行した腹腔鏡下修復手術  
(発表者) 入村雄也  
(学会名) 第69回日本消化器外科学会総会  
(開催地、年月日) 郡山市、平成26年7月16～18日
- 9 (演題名) 要望ビデオ「腹腔鏡下逆流防止術における噴門形成部の後方固定の強化手技」  
(発表者) 柏木秀幸、谷島雄一郎、梶本徹也、良元和久、道躰隆行、兼平卓、北村博顕、  
入村雄也、矢野文章、小村伸朗  
(学会名) 第69回日本消化器外科学会総会  
(開催地、開催日) 郡山市、平成26年7月18日
- 10 (演題名) 要望ビデオ42 私が推奨するヘルニア術式4  
(発表者) 柏木秀幸：座長  
(学会名) 第69回日本消化器外科学会総会  
(開催地、開催日) 郡山市、平成26年7月18日
- 11 (演題名) 当院における腹腔鏡下逆流防止術の検討  
(発表者) 入村雄也  
(学会名) 第23回消化器疾患病態治療研究会  
(開催地、年月日) 札幌市、平成26年8月8～9日
- 12 (演題名) 腹膜透析カテーテル閉塞に対し、腹腔鏡を用いて修復した3例  
(発表者) 北村博顕  
(学会名) 第27回日本内視鏡外科学会総会  
(開催地、年月日) 盛岡市、平成26年10月2～4日
- 13 (演題名) 当院における腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術症例の検討  
(発表者) 入村雄也  
(学会名) 第27回日本内視鏡外科学会総会  
(開催地、年月日) 盛岡市、平成26年10月2～4日
- 14 (演題名) 腹腔鏡下胆嚢摘出術後5mmポート孔に生じたポートサイトヘルニアの1例  
(発表者) 武田泰裕  
(学会名) 第27回日本内視鏡外科学会総会  
(開催地、年月日) 盛岡市、平成26年10月2～4日

- 15 (演題名) 嚥下困難を伴う Rokitansky 憩室に対して胸腔鏡下食道憩室縫縮術を施行した  
1 例  
(発表者) 今泉佑太  
(学会名) 第 27 回日本内視鏡外科学会総会  
(開催地、年月日) 盛岡市、平成 26 年 10 月 2～4 日
- 16 (演題名) 一般演題「食道裂孔ヘルニア 2」  
(発表者) 柏木秀幸：座長  
(学会名) 第 27 回日本内視鏡外科学会総会  
(開催地、開催日) 盛岡市、平成 26 年 10 月 4 日
- 17 (演題名) 幽門側胃切除術後逆流症に対し、残胃空腸 Roux-en Y 法経路変更術にて症状  
緩解を得た 1 例  
(発表者) 入村雄也  
(学会名) 第 44 回胃外科術後障害研究会  
(開催地、年月日) 富士市、平成 26 年 10 月 30～31 日
- 18 (演題名) 化学療法クリニカルパスの作成と運用について  
(発表者) 良元和久  
(学会名) 第 15 回日本クリニカルパス学会学術集会  
(開催地、年月日) 福井市、平成 26 年 11 月 14～15 日
- 19 (演題名) 交通外傷による高齢者横隔膜ヘルニアの 1 例  
(発表者) 入村雄也  
(学会名) 第 76 回日本臨床外科学会総会  
(開催地、年月日) 郡山市、平成 26 年 11 月 20～22 日
- 20 (演題名) 幽門側胃切除後の Billroth- I 法と Roux-en-Y 法再建における栄養状態の検討  
(発表者) 入村雄也  
(学会名) 第 87 回日本胃癌学会総会  
(開催地、年月日) 広島市、平成 27 年 3 月 4～6 日
- 21 (演題名) ポスター 28 「胃切除後障害」  
(発表者) 柏木秀幸：座長  
(学会名) 第 87 回日本胃癌学会総会  
(開催地、開催日) 広島市、平成 27 年 3 月 5 日
- 22 (演題名) 腹部超音波検査が有用であった魚骨による小腸穿孔の 1 例  
(発表者) 恒松雅  
(学会名) 第 51 回日本腹部救急医学会総会  
(開催地、年月日) 京都市、平成 27 年 3 月 5～6 日

[泌尿器科]

- 1 (演題名) 男子淋病性尿道炎由来淋菌の薬剤感受性 2014  
(発表者) 塩野裕、細部高英、遠藤勝久、上田正山、鈴木博雄、鳥居伸一郎、吉良慎一郎、清田浩、穎川晋、小野寺昭一  
(学会名) 日本性感染症学会第 27 回学術大会  
(開催地、開催日) 神戸市、平成 26 年 12 月 6 日
- 2 (演題名) 特別講演：一般社団法人日本性感染症学会のさらなる発展に向けて  
(発表者) 小野寺昭一  
(学会名) 日本性感染症学会第 27 回学術大会  
(開催地、開催日) 神戸市、平成 26 年 12 月 7 日

[産婦人科]

- 1 (演題名) G-CSF 産生腫瘍が考えられた子宮頸部 Glassy cell carcinoma の 1 例  
(発表者) 伊藤敏谷、小田智昭、矢田大輔、窪田尚弘、鈴木康之  
(学会名) 第 66 回日本産科婦人科学会学術集会  
(開催地、開催日) 東京都千代田区、平成 26 年 4 月 20 日

[耳鼻咽喉科]

- 1 (演題名) 静脈性嗅覚検査に反応しない嗅覚障害例の予後についての検討  
(発表者) 宇野匡祐、森恵莉、松脇由典、満山智恵子、久保木章仁、小島博己、鴻信義  
(学会名) 第 115 回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会  
(開催地、年月日) 福岡市、平成 26 年 5 月 14～17 日
- 2 (演題名) 内視鏡下鼻内手術における斜視角度調整機能付き内視鏡 EndoCAMeleon®の有用性と限界  
(発表者) 宇野匡祐、松脇由典、大村和弘、小島博己、鴻信義  
(学会名) 第 53 回日本鼻科学会総会・学術講演会  
(開催地、年月日) 大阪市、平成 26 年 9 月 25～27 日
- 3 (演題名) 外傷性嗅覚障害例の予後についての検討.  
(発表者) 宇野匡祐、森恵莉、松脇由典、満山智恵子、久保木章仁、小島博己、鴻信義  
(学会名) 日本味と匂学会第 48 回大会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成 26 年 10 月 2～4 日

[臨床工学科]

- 1 (演題名) 「医療ガスの安全管理」当院の取り組み  
(発表者) 山元義雄  
(学会名) 第 36 回日本手術医学会総会  
(開催地、年月日) 札幌市、平成 26 年 9 月 26 日

〔リハビリテーション科〕

- 1 (演題名) 変形性股関節症(保存 周術期)に対する生態心理学的アプローチ  
(発表者) 深澤史朗、加藤努  
(学会名) 第41回日本股関節学会学術集会  
(開催地、年月日) 東京都新宿区、平成26年10月31日～11月1日

〔薬剤科〕

- 1 (演題名) 中等度催吐性リスク抗がん薬に対する制吐療法の現状報告と課題  
(発表者) 阿部一仁  
(学会名) 第6回日本がん薬剤学会学術大会  
(開催地、年月日) 東京中央区、平成26年5月18日

〔看護部〕

- 1 (演題名) 妊娠糖尿病妊婦の産後の生活状況と不安に関する意識調査  
(発表者) 宇佐美和代  
(学会名) 第45回日本看護学会「ヘルスプロモーション」(示説)  
(開催地、年月日) 熊本市、平成26年8月28～29日
- 2 (演題名) 心不全で入退院を繰り返す家族の思い  
(発表者) 風早祥  
(学会名) 第45回日本看護学会「慢性期看護」(示説)  
(開催地、年月日) 徳島市、平成26年9月11～12日
- 3 (演題名) 早産児・正期産児のポジショニングの効果  
(発表者) 神谷ちとせ  
(学会名) 第45回日本看護学会「急性期看護」(口演)  
(開催地、年月日) 横浜市、平成26年10月23～24日
- 4 (演題名) ICUで看護ケアを体験した患者の思い  
(発表者) 平元いずみ  
(学会名) 第45回日本看護学会「急性期看護」(口演)  
(開催地、年月日) 横浜市、平成26年10月23～24日
- 5 (演題名) 急性期病院の病棟看護師の退院支援に対する認識  
(発表者) 野畑圭子  
(学会名) 第53回全国自治体病院学会(示説)  
(開催地、年月日) 宮崎市、平成26年10月30～31日
- 6 (演題名) 乳房切除パスのバリエーション分析による新たなアウトカムの検討  
(発表者) 大年有香  
(学会名) 第15回日本クリニカルパス学術検討会(示説)  
(開催地、年月日) あわら市、平成26年11月13～15日

- 7 (演題名) ストーマ脱落により再固定術に至った症例  
(発表者) 若林久美子  
(学会名) 第32回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会(示説)  
(開催地、年月日) 浦安市、平成27年2月27～28日

[事務部]

- 1 (演題名) 「身寄りのないケースの受け入れ実態に関する調査研究」  
(発表者) 江村宏子(医事課地域連携室)  
(学会名) 第34回日本医療社会事業学会  
(開催地、開催日) 日立市、平成26年5月

**C. 地方会・講演会・研究会**

[代謝一般内科]

- 1 (演題名) イプラグリフロジンを導入した2型糖尿病患者に持続血糖モニターを行った1例  
(発表者) 竹田裕介  
(会名) 第225回日本内科学会東海地方会  
(開催地、開催日) 津市、平成27年2月22日
- 2 (演題名) 糖尿病の治療中に偶発的に副腎結節を認め、Cushing症候群の診断に至った1例  
(発表者) 廣津貴夫  
(会名) 第225回日本内科学会東海地方会  
(開催地、開催日) 津市、平成27年2月22日

[呼吸器内科]

- 1 (演題名) 人工呼吸器管理を要した気管支喘息重積発作の1例  
(発表者) 高橋直子、木村哲夫、内海裕文  
(会名) 第225回日本内科学会東海地方会  
(開催地、年月日) 津市、平成27年2月

[消化器内科]

- 1 (演題名) 消化管出血を契機に診断に至ったANCA関連血管炎の一例  
(発表者) 金井友哉  
(会名) 第224回日本内科学会東海地方会  
(開催地、開催日) 名古屋市、平成26年11月2日



- 2 (演題名) EUSにて確認後、胃壁固定術を用いて安全に用手的抜去を施行したバンパー埋没症候群 (Buried bumper syndrome:BBS) の1例  
(発表者) 赤須貴文  
(会名) 第224回日本内科学会東海地方会  
(開催地、開催日) 名古屋市、平成26年11月2日
- 3 (演題名) 大腸悪性狭窄に対しての内視鏡ステント留置術に関する検討  
(発表者) 堀内洋志  
(会名) 富士胃腸疾患研究会  
(開催地、開催日) 富士市、平成26年4月25日
- 4 (演題名) EUSにて確認後、胃壁固定術を用いて安全に用手的抜去を施行したバンパー埋没症候群 (Buried bumper syndrome:BBS) の1例  
(発表者) 赤須貴文  
(会名) 富士胃腸疾患研究会  
(開催地、開催日) 富士市、平成26年6月27日
- 5 (演題名) 2度の生検で偽陰性を呈した2型進行胃癌の1例  
(発表者) 古橋広人  
(会名) 富士胃腸疾患研究会  
(開催地、開催日) 富士市、平成26年7月25日
- 6 (演題名) 15cmに及ぶwalled-off necrosis (WON) の一例  
(発表者) 金井友哉  
(会名) 富士胃腸疾患研究会  
(開催地、開催日) 富士市、平成26年9月26日
- 7 (演題名) 小型大腸腺腫に対する cold polypectomy 文献的考察と当院での経験  
(発表者) 古橋広人  
(会名) 富士胃腸疾患研究会  
(開催地、開催日) 富士市、平成26年11月28日
- 8 (演題名) 当院における肝硬変による腹水貯留患者に対するトルバプタン使用経験  
(発表者) 金井友哉  
(会名) 富士 Liver Conference  
(開催地、開催日) 富士市、平成27年2月6日
- 9 (演題名) EUS-FNAにて診断しえた高度食道狭窄の一例  
(発表者) 金井友哉  
(会名) 富士胃腸疾患研究会  
(開催地、開催日) 富士市、平成27年2月27日

- 10 (演題名) 当院で経験した Gastric Schwannoma の 1 例  
(発表者) 中野真範  
(会 名) 富士胃腸疾患研究会  
(開催地、開催日) 富士市、平成 27 年 3 月 27 日

[腎内科]

- 1 (演題名) 症例提示  
(発表者) 笠井健司  
(会 名) 富士市 CKD ネットワーク 第 1 回研修会  
(開催地、開催日) 富士市、平成 26 年 8 月
- 2 (演題名) 富士市 CKD ネットワーク設立後の富士市立中央病院の CKD 診療への取り組み  
(発表者) 宇田川崇  
(会 名) サムスカ効能追加記念 (第 2 報)  
(開催地、開催日) 沼津市、平成 26 年 9 月
- 3 (演題名) 症例検討 ―若手医師のためのケースカンファレンス― 扁桃炎治療中に消化管出血・腎機能障害をきたした 50 代男性例  
(発表者) 山本和佳、勝俣陽貴、古谷麻衣子、宇田川崇、笠井健司  
(会 名) 第 49 回静岡腎セミナー  
(開催地、開催日) 静岡市、平成 26 年 9 月
- 4 (演題名) 持続蛋白尿のみを認めた Fabry 病の 1 例  
(発表者) 宇田川崇、福井亮、勝俣陽貴、古谷麻衣子、山本和佳、笠井健司、横尾隆  
(会 名) 第 44 回日本腎臓学会東部学術集会  
(開催地、年月日) 東京都新宿区、平成 26 年 10 月 24～25 日
- 5 (演題名) 災害を乗り越えるために 知っておきたいこと  
(発表者) 笠井健司  
(会 名) 第 3 回富士市透析防災講演会  
(開催地、開催日) 富士市、平成 26 年 10 月
- 6 (演題名) 腹膜透析療法の最近の話題  
(発表者) 笠井健司  
(会 名) 東三河腹膜透析講演会  
(開催地、開催日) 豊橋市、平成 26 年 10 月
- 7 (演題名) 糖尿病治療中にネフローゼ症候群を発症した一例  
(発表者) 山本和佳、古谷麻衣子、勝俣陽貴、宇田川崇、笠井健司  
(会 名) 第 34 回東部腎カンファレンス  
(開催地、開催日) 駿東郡清水町、平成 26 年 11 月

- 8 (演題名) ー 地域における安心・安全な医療体制の実現 ー 富士市 CKD (慢性腎臓病) ネットワークに新たな医療連携の可能性を探る  
(発表者) 笠井健司  
(会 名) トータルライフ医療学術集会  
(開催地、開催日) 東京都文京区、平成 26 年 12 月
- 9 (演題名) 本当は怖い慢性腎臓病 (CKD) ～成人の 8 人に 1 人がかかる新たな国民病～  
(発表者) 笠井健司  
(会 名) 富士市 CKD ネットワーク講演会  
(開催地、開催日) 富士市、平成 26 年 12 月
- 10 (演題名) CKD における ESA 製剤投与の意義と使用の実際  
(発表者) 宇田川崇  
(会 名) 富士市腎疾患フォーラム  
(開催地、開催日) 富士市、平成 26 年 12 月
- 11 (演題名) 富士市 CKD ネットワーク設立後の富士市立中央病院の CKD 診療 [第 2 報]  
(発表者) 宇田川崇  
(会 名) 第 2 回富士 CKD フォーラム  
(開催地、開催日) 富士市、平成 26 年 12 月
- 12 (演題名) 腹膜透析の未来をひらく  
(発表者) 笠井健司  
(会 名) 静岡 CAPD ナースセミナー教育講演  
(開催地、開催日) 富士市、平成 27 年 1 月
- 13 (演題名) 糖尿病治療中に微小変化型ネフローゼ症候群を発症した 1 例  
(発表者) 山本和佳、古谷麻衣子、勝俣陽貴、宇田川崇、笠井健司  
(会 名) 第 225 回日本内科学会東海地方会  
(開催地、年月日) 津市、平成 27 年 2 月
- 14 (演題名) 感冒治療中に全身の血管炎と肉芽腫性間質性腎炎をきたした 1 症例  
(発表者) 古谷麻衣子、山本和佳、勝俣陽貴、宇田川崇、笠井健司  
(会 名) 第 225 回日本内科学会東海地方会  
(開催地、年月日) 津市、平成 27 年 2 月
- 15 (演題名) 多発性嚢胞腎の病態と臨床  
(発表者) 宇田川崇  
(会 名) Fuji CKD Expert Meeting  
(開催地、開催日) 富士市、平成 27 年 2 月

- 16 (演題名) 富士市透析防災ネットワークの活動  
(発表者) 笠井健司、中村一賀 (富士第一クリニック)、杉山義樹 (東名富士クリニック)、  
内田光一 (聖隷富士病院)、山内康裕 (新富士病院)、  
加藤伸之輔 (加藤クリニック)、野口武雄 (共立蒲原病院)  
(会 名) 第 45 回静岡腎不全研究会  
(開催地、開催日) 静岡市、平成 27 年 3 月
- 17 (演題名) 高尿酸血症の臨床的意義と治療の進歩  
(発表者) 笠井健司  
(会 名) 第 54 回静岡県病院学会  
(開催地、開催日) 静岡市、平成 27 年 3 月

[小児科]

- 1 (演題名) 出生時に全身の点状出血斑を認めた新生児ビタミン K 欠乏症  
(発表者) 日馬由貴  
(会 名) 第 4 回静岡県東部小児血友病懇話会  
(開催地、開催日) 静岡市、平成 26 年 5 月 22 日
- 2 (演題名) 富士市の小児溺水患者における患者背景変化の検討  
(発表者) 久保田淳、石川尊士、玉利明信、日馬由貴、山田浩介、秋山直枝、瀬川孝昭、  
千葉博胤、佐野秀美、寺本和史、井田博幸  
(会 名) 第 134 回日本小児科学会静岡地方会  
(開催地、開催日) 静岡市、平成 26 年 6 月 21 日
- 3 (演題名) 富士市立中央病院における 27 年間の小児誤飲患者の臨床的検討  
(発表者) 石川尊士、久保田淳、玉利明信、日馬由貴、山田浩介、秋山直枝、瀬川孝昭、  
千葉博胤、寺本和史、井田博幸  
(会 名) 第 134 回日本小児科学会静岡地方会  
(開催地、開催日) 静岡市、平成 26 年 6 月 21 日
- 4 (演題名) 当院に入院した扁桃炎 109 症例の臨床的検討  
(発表者) 日馬由貴、武政洋一、久保田淳、相良長俊、山田浩介、秋山直枝、瀬川孝昭、  
千葉博胤  
(会 名) 第 10 回静岡小児感染症研究会  
(開催地、開催日) 静岡市、平成 27 年 1 月 10 日
- 5 (演題名) 心不全を契機に診断された腎外症候性糸球体腎炎の 1 例  
(発表者) 相良長俊、久保田淳、石川尊士、日馬由貴、山田浩介、秋山直枝、千葉博胤、  
瀬川孝昭、井田博幸  
(会 名) 第 135 回日本小児科学会静岡地方会  
(開催地、開催日) 静岡市、平成 26 年 11 月 2 日

[外科]

- 1 (演題名) 清掃用エアガンによる外傷性S状結腸穿孔の1例  
(発表者) 今泉佑太  
(会名) 静岡県外科医会第288回集談会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成26年6月7日
  
- 2 (演題名) 若手医師のセッション①  
(発表者) 柏木秀幸、片田夏也：座長  
(会名) 第23回消化器疾患病態治療研究会  
(開催地、開催日) 札幌市、平成26年8月9日
  
- 3 (演題名) ナイトセッションI  
(発表者) 柏木秀幸、杉山敏郎：座長  
(会名) 第33回消化器病態生理勉強会  
(開催地、開催日) 東京都新宿区、平成26年8月9日
  
- 4 (演題名) 特別講演  
(発表者) 柏木秀幸：座長  
(会名) 第7回静岡県東部胃癌診療研究会  
(開催地、開催日) 沼津市、平成26年9月4日
  
- 5 (演題名) ー  
(発表者) 柏木秀幸：当番世話人  
(会名) 第44回胃外科・術後障害研究会  
(開催地、開催日) 富士市、2014年10月30日～31日
  
- 6 (演題名) 膝癌肉腫の1例  
(発表者) 恒松雅  
(会名) 第65回静岡県癌治療研究会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成26年11月1日
  
- 7 (演題名) 「消化管トピックス」「再建術」  
(発表者) 柏木秀幸、真船健一：司会  
(会名) 第9回食道・胃外科フォーラム  
(開催地、開催日) 東京都千代田区、平成27年2月21日
  
- 8 (演題名) 酸関連疾患と外科治療ー胃酸は必要か？  
(発表者) 柏木秀幸：特別講演  
(会名) 伊東市医師会学術講演会  
(開催地、開催日) 伊東市、平成27年2月26日

[整形外科]

- 1 (演題名) 足・腰の痛みはありませんか？－ あなたもロコモ体操しませんか －  
(発表者) 加藤努  
(会 名) 富士市難病団体連絡協議会医療講演会  
(開催地、年月日) 富士市、平成 27 年 2 月 14 日

[形成外科]

- 1 (演題名) 先天性耳介形成異常の非観血的矯正治療の当院における工夫  
(発表者) 森山壮  
(会 名) 静岡県形成外科医会第 40 回例会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成 26 年 9 月 5 日
- 2 (演題名) 終止腱の断裂に剥離骨折を合併したマレット指の報告  
(発表者) 塩崎正崇  
(会 名) 静岡県形成外科医会第 41 回例会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成 27 年 3 月 31 日

[皮膚科]

- 1 (演題名) 外傷を契機に発生した myopericytoma の 1 例  
(発表者) 栗原和生  
(会 名) 第 109 回日本皮膚科学会静岡地方会  
(開催地、開催日) 静岡市、平成 26 年 6 月 21 日
- 2 (演題名) Frontal fibrosing alopecia の 1 例  
(発表者) 栗原和生  
(会 名) 第 111 回日本皮膚科学会静岡地方会  
(開催地、開催日) 浜松市、平成 27 年 3 月 7 日

[泌尿器科]

- 1 (演題名) 陰嚢壊死性筋膜炎を契機に発見された HIV 陽性患者の 1 例  
(発表者) 大林広輝、鈴木英訓、後藤博一、小野寺昭一  
(会 名) 第 126 回静岡県泌尿器科医会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成 26 年 6 月 21 日
- 2 (演題名) サイトカイン療法が長時間奏功した腎細胞癌の 1 例  
(発表者) 西川英臣、鈴木英訓、後藤博一、小野寺昭一  
(会 名) 第 127 回静岡県泌尿器科医会  
(開催地、年月日) 三島市、平成 27 年 1 月 31 日

### 〔産婦人科〕

- 1 (演題名) Bakri バルーンが止血に有効であった子宮仮性動脈瘤破裂の1例  
(発表者) 伊藤敏谷、小田智昭、矢田大輔、窪田尚弘、鈴木康之  
(会名) 平成26年度静岡産科婦人科学会春季学術集会  
(開催地、開催日) 静岡市、平成26年6月1日
- 2 (演題名) 当院における卵管水腫に対する不妊治療の経験  
(発表者) 矢田大輔、伊藤敏谷、小田智昭、岸本彩子、鈴木康之  
(会名) 第36回中部生殖医学会  
(開催地、開催日) 浜松市、平成26年6月7日
- 3 (演題名) 遺伝性出血性末梢血管拡張症合併妊娠の1例  
(発表者) 岸本彩子、井出瑠衣、伊藤敏谷、小田智昭、矢田大輔、鈴木康之  
(会名) 第27回静岡県母性衛生学会  
(開催地、開催日) 静岡市、平成26年9月21日
- 4 (演題名) 脳梗塞発症後に子宮体がんが発覚し、Trousseau 症候群の診断にいたった1例  
(発表者) 井出瑠衣、伊藤敏谷、岸本彩子、矢田大輔、鈴木康之  
(会名) 平成26年度静岡産科婦人科学会秋季学術集会  
(開催地、開催日) 沼津市、平成26年11月30日

### 〔眼科〕

- 1 (演題名) 当院におけるロービジョン外来  
(発表者) 藤谷暢子  
(会名) 平成26年度静岡県東部眼科医会放談会  
(開催地、年月日) 沼津市、平成26年9月4日

### 〔耳鼻咽喉科〕

- 1 (演題名) 小児鼻性眼窩内膿瘍の1例  
(発表者) 森本宰充、宇野匡祐、重田泰史  
(会名) 岳南耳鼻咽喉科研究会  
(開催地、年月日) 富士市、平成26年5月28日
- 2 (演題名) 鼻中隔粘膜弁を利用し開放した斜台粘液瘤の一例  
(発表者) 宇野匡祐、森本宰充、重田泰史  
(会名) 日本耳鼻咽喉科学会静岡地方部会  
(開催地、年月日) 三島市、平成26年7月5日

- 3 (演題名) 鼻副鼻腔乳頭腫に対し Endoscopic Modified Medial Maxillectomy (EMMM) を施行した1例  
(発表者) 森本幸充、宇野匡祐、重田泰史  
(会名) 岳南耳鼻咽喉科研究会  
(開催地、年月日) 富士市、平成26年7月30日
- 4 (演題名) 慢性副鼻腔炎治療中に眼痛を訴え、緊急手術となった1例  
(発表者) 宇野匡祐、森本幸充、重田泰史  
(会名) 岳南耳鼻咽喉科研究会  
(開催地、年月日) 富士市、平成26年9月17日
- 5 (演題名) 気管内多形腺腫の1例  
(発表者) 重田泰史、宇野匡祐、森本幸充  
(会名) 日本耳鼻咽喉科学会静岡地方部会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成26年10月4日
- 6 (演題名) 対応に苦慮した交通外傷の1例  
(発表者) 宇野匡祐、森本幸充、重田泰史  
(会名) 岳南耳鼻咽喉科研究会  
(開催地、年月日) 富士市、平成26年11月19日
- 7 (演題名) 血管腫が疑われた喉頭腫瘍の1例  
(発表者) 森本幸充、宇野匡祐、重田泰史  
(会名) 岳南耳鼻咽喉科研究会  
(開催地、年月日) 富士市、平成27年3月11日
- 8 (演題名) 内視鏡下手術を行った外傷性耳小骨連鎖離断の1例  
(発表者) 重田泰史、宇野匡祐、森本幸充  
(会名) 岳南耳鼻咽喉科研究会  
(開催地、年月日) 富士市、平成27年3月11日
- 9 (演題名) 前頭洞病変に対する粘骨膜弁の有用性  
(発表者) 宇野匡祐、森本幸充、重田泰史  
(会名) 第30回静岡県耳鼻咽喉科手術手技研究会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成27年3月14日

[歯科口腔外科]

- 1 (演題名) 有病者の歯科治療  
(発表者) 勝山直彦  
(会名) 蕨・戸田歯科医師会  
(開催地、年月日) 戸田市、平成26年6月8日



- 2 (演題名) 口腔癌検診について  
(発表者) 勝山直彦  
(会 名) 富士宮歯科医師会  
(開催地、年月日) 富士宮市、平成 27 年 2 月 28 日

[臨床検査科]

- 1 (演題名) 顎下腺、消化器部門細胞検査士試験対策講師  
(発表者) 渡辺広明  
(会 名) 静岡県臨床細胞学会試験対策基礎講習会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成 26 年 6 月 21 日
- 2 (演題名) 「なりすまし」に起因する輸血過誤への対策  
(発表者) 長峰誠一郎  
(会 名) 静岡県輸血懇話会学術集会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成 26 年 9 月 13 日
- 3 (演題名) 私の職業  
(発表者) 長峰誠一郎  
(会 名) 職業講和  
(開催地、年月日) 富士市、平成 26 年 10 月 13 日
- 4 (演題名) 左肺門部原発小細胞がんの肺内転移、頸部リンパ節転移の一例  
(発表者) 石川隆之  
(会 名) 静岡県東部細胞診症例研究会  
(開催地、年月日) 沼津市、平成 26 年 11 月 21 日
- 5 (演題名) 胃粘膜下腫瘍 Neuroendocrine tumor, NET G1 (carcinoid) の 1 例  
(発表者) 石川隆之  
(会 名) 静岡県東部細胞診症例研究会  
(開催地、年月日) 沼津市、平成 26 年 11 月 21 日
- 6 (演題名) 検体分析前段階の精度管理について  
(発表者) 鈴木英昭  
(会 名) 静岡県衛生検査所精度管理責任者研修会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成 26 年 12 月 20 日

[中央放射線科]

- 1 (演題名) 各施設における逐次近似再構成の利用状況  
(発表者) 大野純希  
(会 名) 第 5 回静岡 CT 研究会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成 26 年 5 月 31 日

- 2 (演題名) 腹部超音波検査が契機となって発見された腹部三重複癌の一例  
(発表者) 澤口信孝  
(会名) 静岡県放射線技師会 超音波部会 第62回研修会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成26年10月4日
- 3 (演題名) シーメンスアンギオ装置の導入と使用経験  
(発表者) 井出敦之  
(会名) 静岡県放射線技師会 アンギオ部会 第42回研修会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成26年10月18日
- 4 (演題名) 当院におけるMMGの乳癌検出率について  
(発表者) 湯山桃子  
(会名) 第21回診療放射線技師富士・富士宮研究会  
(開催地、年月日) 富士市、平成26年10月24日
- 5 (演題名) 血管装置CBCTの初期経験  
(発表者) 岡根谷侑  
(会名) 静岡県放射線技師会東部地区放射線セミナー  
(開催地、年月日) 沼津市 平成27年1月31日
- 6 (演題名) チーム医療における読影補助  
(発表者) 澤口信孝  
(会名) 第56回東海四県放射線技師会学術大会  
(開催地、年月日) 名古屋市、平成27年2月15日
- 7 (演題名) 当院CTにおけるAdamkiewicz動脈の撮影法について  
(発表者) 猪股崇亨  
(会名) 第22回診療放射線技師富士・富士宮研究会  
(開催地、年月日) 富士市、平成27年3月20日

[リハビリテーション科]

- 1 (演題名) 生態心理学的概念に基づいた運動療法(ベーシックコース)  
(発表者) 深澤史朗  
(会名) 第10374回理学療法士講習会  
(開催地、年月日) 富士市、平成26年7月5日～6日

[薬剤科]

- 1 (演題名) アレルギー副作用カードの今後の運用について  
(発表者) 落合敏明  
(会名) 第8回静岡県東部副作用研究会  
(開催地、年月日) 三島市、平成26年11月20日

- 2 (演題名) 当院の中等度催吐性レジメンの制吐療法  
(発表者) 阿部一仁  
(会名) 第1回静岡県東部支持療法を考える会  
(開催地、年月日) 沼津市、平成26年4月18日
- 3 (演題名) 外科病棟における薬剤師の活動に必要な知識－周術期の薬学管理を中心に－  
(発表者) 阿部一仁  
(会名) 第36回日本病院薬剤師会実務研修会  
(開催地、年月日) 東京都渋谷区、平成26年9月21日
- 4 (演題名) 外科病棟における薬剤師の活動に必要な知識  
(発表者) 阿部一仁  
(会名) 呉市病院薬剤師会講演会  
(開催地、年月日) 広島県呉市、平成27年2月27日

〔看護部〕

- 1 (演題名) 妊娠糖尿病既往女性の産後の生活状況と不安に関する意識  
(発表者) 加藤みほ  
(会名) 第27回静岡県母性衛生学会学術集会  
(開催地、年月日) 静岡市、平成26年9月21日
- 2 (演題名) PD看護スタッフ用マニュアルの見直し ～病棟看護師に対する指導内容の共有化～  
(発表者) 野澤秀香  
(会名) 第31回静岡県CAPDナースセミナー  
(開催地、年月日) 富士市、平成27年1月18日
- 3 (演題名) 心不全で入退院を繰り返す患者への思い  
(発表者) 下田一樹  
(会名) 静岡県看護協会富士地区支部 第14回看護実践報告会  
(開催地、年月日) 富士市、平成27年2月7日

〔事務部〕

- 1 (演題名) 「身寄りのない認知症患者Aさんの生活支援」  
(発表者) 江村宏子 (医事課地域連携室)  
(会名) 富士地区事例検討会  
(開催地、開催日) 富士市、平成26年8月
- 2 (演題名) 「ターミナルケースの転院」  
(発表者) 佐藤理絵 (医事課地域連携室)  
(会名) SW研究会  
(開催地、開催日) 富士市、平成26年9月

- 3 (演題名) 「医療ソーシャルワーカーの専門性を考える」  
 (発表者) 江村宏子 (医事課地域連携室)  
 (会 名) 静岡県医療ソーシャルワーカー協会初任者研修  
 (開催地、開催日) 静岡市、平成 26 年 11 月
- 4 (演題名) 「SV のモデルセッション」  
 (発表者) 江村宏子 (医事課地域連携室)  
 (会 名) 静岡県社会福祉士会基礎研修Ⅲ  
 (開催地、開催日) 静岡市、平成 26 年 11 月
- 5 (演題名) 「SW 倫理綱領の現場適応」  
 (発表者) 江村宏子 (医事課地域連携室)  
 (会 名) 静岡県社会福祉士会基礎研修 I  
 (開催地、開催日) 沼津市、平成 26 年 12 月
- 6 (演題名) 「医療機関における保証人のないケースの現状 パート 2」  
 (発表者) 佐藤理絵 (医事課地域連携室)  
 (会 名) 第 3 回静岡県実践研究学会  
 (開催地、開催日) 静岡市、平成 27 年 1 月
- 7 (演題名) 「事例検討・SV について」  
 (発表者) 江村宏子 (医事課地域連携室)  
 (会 名) 第 2 回圏域内介護支援専門員勉強会  
 (開催地、開催日) 富士市、平成 27 年 3 月

## D. 著書・雑誌掲載論文

### [腎内科]

- 1 (著書【題名】) Encapsulating peritoneal sclerosis in the era of a multi-disciplinary approach based on biocompatible solutions: the NEXT-PD study  
 (著者) Nakayama M(1)(2), Miyasaki M(3), Honda K(4), Kasai K(5), Tomo T(6), Nakamoto H(7), Kawanishi H(8); on behalf of the NEXT-PD study  
 (1)Tohoku University Graduate School of Medicine,  
 (2)Fukushima Medical University School of Medicine, (3)Miyazaki Clinic,  
 (4)Tokyo Women's Medical University School of Medicine,  
 (5)Fuji City General Hospital, (6)Oita University School of Medicine,  
 (7)Saitama Medical University, (8)Tsuchiya General Hospital  
 (発行所・年・巻・号・頁) Peritoneal Dialysis International・2014 Nov-Dec・34(7)・P766-74

2 (著書【題名】) A multicenter randomized controlled trial of tonsillectomy combined with steroid pulse therapy in patients with immunoglobulin A nephropathy.

(著者) Kawamura T, Yoshimura M(1), Miyazaki Y, Okamoto H, Kimura K(2), Hirano K, Matsushima M(3), Utsunomiya Y, Ogura M, Yokoo T, Okonogi H, Ishii T, Hamaguchi A, Ueda H, Furusu A(4), Horikoshi S(5), Suzuki Y(5), Shibata T(6), Yasuda T(2), Shirai S(2), Imasawa T(7), Kanozawa K(8), ada A(9), Yamaji I(10), Miura N(11), Imai H(11), Kasai K(12), Soma J(13), Fujimoto S(14), Matsuo S(15), and Tomino Y(5), The Special IgA Nephropathy Study Group  
(1) Kanazawa Medical Centre, (2) St. Marianna University School of Medicine, (3) Division of Clinical Epidemiology, Research Center for Medical Science Jikei University School of Medicine, (4) Nagasaki University Hospital of Medicine and Dentistry, (5) Juntendo University School of Medicine, (6) Showa University School of Medicine, (7) Chiba-East Hospital, (8) Saitama University Medical Centre, (9) National Hospital Organization Osaka National Hospital, (10) Teine Keijinkai Hospital, (11) Aichi Medical University School of Medicine, (12) Fuji City Central Hospital, (13) Iwate Prefectural Central Hospital, (14) University of Miyazaki, (15) University of Nagoya

(発行所・年・巻・号・頁) Nephrol Dial Transplant. 2014・29・P1546-1553

3 (著書【題名】) 主題IX慢性腎不全・尿路感染における敗血症治療戦略

(著者) 笠井健司

(発行所・年・巻・号・頁) エンドトキシン血症救命治療研究会誌・2014・18(1)・P211-213

4 (著書【題名】) スマイル【ドクターからのメッセージ】

(著者) 笠井健司

(発行所・年・巻・号・頁) バクスター・2014・2014年秋号・P3

5 (著書【題名】) いまさら訊けない!透析患者検査値のみかた, 考えかた【ビタミンD】

(著者) 笠井健司

(発行所・年・巻・号・頁) 中外医学社・2014・P171-175

#### [外科]

1 (著書【題名】) 平成26年度保険診療報酬改訂と外保連試案2014

(著者) 柏木秀幸

(発行所・年・巻・号・頁) 日本内視鏡外科学会ニュースレター・2014・No.14・P4-5

- 2 (著書【題名】) 食道裂孔ヘルニア  
(著者) 柏木秀幸  
(発行所・年・巻・号・頁) 消化器病診療 (第2版) 日本消化器病学会・医学書院・2014・  
P21-23

- 3 (著書【題名】) 食道裂孔ヘルニア  
(著者) 柏木秀幸  
(発行所・年・巻・号・頁) ドクターサロン・2014・58(11)・P806-810

#### [皮膚科]

- 1 (著書【題名】) エリスロマイシンが奏効した急性痘瘡状苔癬状秕糠疹の1例  
(著者名) 栗原和生、津嶋友央  
(発行所・年・巻・号・頁) 臨床皮膚科・2014・Vol 68・No.9・P689-692

#### [産婦人科]

- 1 (著書【題名】) 自己血輸血したサラセミア合併妊娠の1例  
(著者) 小田智昭、伊藤敏谷、矢田大輔、窪田尚弘、鈴木康之  
(発行所・年・巻・号・頁) 静岡県母性衛生学会学術誌・2014・8・P23-28

#### [耳鼻咽喉科]

- 1 (著書【題名】) 静脈性嗅覚検査に反応しない嗅覚障害例の予後についての検討  
(著者名) 宇野匡祐、森恵莉、松脇由典、満山智恵子、久保木章仁、小島博己、  
鴻信義  
(発行所・年・巻・号・頁) 耳展 57巻・6号

#### [歯科口腔外科]

- 1 (著書【題名】) Are muscle relaxants needed for nasal intubation in propofol and  
remifentanil anesthesia?  
(著者) 井出正俊、勝山直彦  
(発行所・年・巻・号・頁) American Association of Oral and Maxillofacial Surgeons  
・2014・72・11・P2134 - 2139

#### [看護部]

- 1 (著書【題名】) 地域連携「在宅療養支援グループの設置による看護サービスの向上」  
(著者) 遠藤さよ子、齋藤幸子、佐藤美智子、村松和歩、赤堀崇代、野畑圭子  
(発行所・年・巻・号・頁) 日総研・2014・11・12月号・P78-83

#### [事務部]

- 1 (著書【題名】) 医療ソーシャルワーク 「医療機関における保証人のないケースの現状  
～医療同意に関する県内医療機関の実態調査から～」  
(著者名) 遠藤卓馬 (医事課地域連携室)  
(発行所・年・巻・号・頁) 静岡県医療ソーシャルワーカー協会・2013・No.42 (2014.5月  
発行)・P23-26

## 第 29 回 富士シンポジウム

(富士市立中央病院と富士市医師会との合同研究発表)

開催日：平成 26 年 6 月 12 日 (木)

会 場：富士市立中央病院 2 階 大会議室

テーマ：「各科の話題・トピックス」

座 長：津嶋 友央 富士市立中央病院医局長 (皮膚科 部長)

望月 衛 富士市医師会生涯教育担当理事 (望月医院 院長)

演 題：1 『当院における脳血管内治療』

発 表 者：坂本 広喜 (富士市立中央病院 脳神経外科 医長)

指定討論者：磯江 士朗 (いそえ脳神経外科クリニック 院長)

2 『富士市立中央病院における 27 年間の小児溺水と誤飲患者の臨床的検討』

発 表 者：石川 尊士 (富士市立中央病院 小児科 専任医師)

指定討論者：河村 研一 (かわむらこどもクリニック 院長)

3 『前立腺癌に対する新しい内分泌治療薬の使用経験』

発 表 者：大林 広輝 (富士市立中央病院 泌尿器科 医員)

指定討論者：上田 正山 (上田クリニック 院長)

4 『心房細動治療のリアルワールド』

発 表 者：山本 康孝 (山本康孝循環器内科・内科クリニック 院長)

指定討論者：阪本 宏志 (富士市立中央病院 循環器内科 部長)

5 『開業医が見る食道良性潰瘍・びらんのあれこれ』

発 表 者：檜村 弘隆 (檜村胃腸科外科 院長)

指定討論者：鳥巢 勇一 (富士市立中央病院 消化器内科 部長)

6 『睡眠時無呼吸症候群の診断と治療 –耳鼻咽喉科の立場から–』

発 表 者：渡邊 高弘 (たかひろ耳鼻咽喉科医院 院長)

指定討論者：重田 泰史 (富士市立中央病院 耳鼻咽喉科 部長)

## 第 31 回 富士市立中央病院学術集会

(病院職員による院内の学術発表)

開催日：平成 26 年 8 月 29 日 (金)

会場：富士市立中央病院 2 階 大会議室

演題：一般演題

一般演題：

【診療部】座長：津嶋 友央 (皮膚科 部長)

1 『下部消化管出血 — 当院における大腸憩室出血への対応 —』

発表者：消化器内科 中野 真範、(赤須 貴文、古橋 広人、  
金井 友哉、堀内 洋志、鳥巢 勇一)

2 『小児気管支喘息 9,798 症例における喘息発作による滲出性中耳炎  
の発症と発作による聴力低下について』

発表者：小児科 瀬川 孝昭

3 『当院におけるビスフォスフォネート関連顎骨壊死に関する臨床統計』

発表者：口腔外科 近藤 道人

【診療技術部】座長：西田 英明 (臨床工学科 技師長)

4 『当院における鉄過剰症に対する鉄キレート療法』

発表者：臨床検査科 大野 真一、(長峰 誠一郎、左原 泰子、  
高橋 昌子、藤井 常宏、松田 佑平)

5 『画像誘導放射線治療 (IGRT) の有用性』

発表者：中央放射線科 鈴木 和訓、(神田 直樹、秋田 真弓、  
清水 則雄)

6 『薬剤師の病棟業務に関するアンケートについて』

発表者：薬剤科 岩本 一徳、(加藤 寛史、鈴木 正隆、  
三澤 延司、大滝 哲也、渡邊 浩臣、川口 敬、  
柴田 貴子、佐藤 実香、望月 保子、  
木元 慎一郎、後藤 和美、阿部 一仁、  
松田 佑平、小林 正典、小坂 祐介、  
松村 香奈、木村 佳弘、落合 敏明)



【看護部】座長：藤澤 睦子（副看護部長）

7 『4 B病棟 NICU の現状』

発表者：4 B病棟 東川 真理、（渡辺 明子、羽二生 朱美、  
高橋 ハマ子）

8 『チームでおこなう SSI サーベイランス － 感染管理認定看護師  
の活動 －』

発表者：5 B病棟 本間 功武

9 『「地域がん診療病院」承認に向けての取り組み』

発表者：地域連携室 齋藤 幸子

受賞結果：最優秀賞

『「地域がん診療病院」承認に向けての取り組み』

発表者：地域連携室 齋藤 幸子



優秀賞

『当院におけるビスフォスフォネート関連顎骨壊死に関する臨床統計』

発表者：口腔外科 近藤 道人

優秀賞

『当院における鉄過剰症に対する鉄キレート療法』

発表者：臨床検査科 大野 真一、（長峰 誠一郎、左原 泰子、  
高橋 昌子、藤井 常宏、松田 佑平）

## 富士市立中央病院 市民公開講座

### 【前期】

開催日：平成26年6月24日（火） 19:00～20:30（18:30開場）

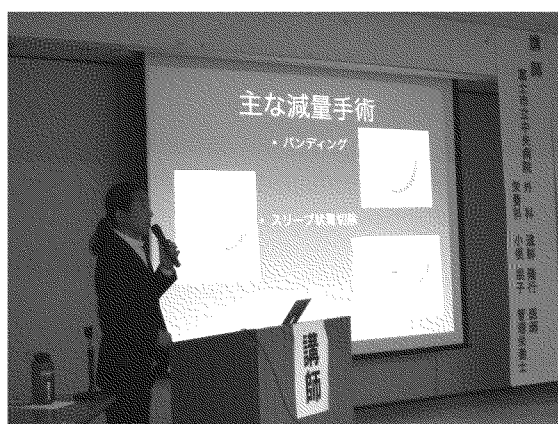
会場：富士市立中央病院2階 大会議室

講座名：第8回市民公開講座

『病的肥満に対する治療 — 栄養管理から減量手術まで —』

講師：富士市立中央病院 外科副部長 道躰 隆行  
栄養科主査 小俣 朋子（管理栄養士）

参加者数：88名



### 【後期】

開催日：平成26年10月31日（金） 19:00～20:30（18:30開場）

会場：富士市立中央病院2階 大会議室

講座名：第9回市民公開講座

『胃腸の仕組みと病気 — 後進発達臓器“脳”にだまされない健康管理 —』

講師：東京慈恵会医科大学客員教授 青木 照明 先生

参加者数：100名



## 平成 26 年度 富士市立中央病院出前講座

24 講座 (全 54 回)、延べ参加人数 2,066 人

講座 No. 4	小児のこころ (小児科) 2月14日/1回/14人
講座 No. 5	こどもの予防接種～失われた15年を取り戻せ～ (小児科) 2月14日/1回/14人
講座 No. 6	こどものけいれん とくに熱性けいれんについて (小児科) 6月27日/1回/11人
講座 No. 7	胃がん・大腸がんについて (外科) 6月9日/1回/12人
講座 No.13	放射線とは何? どうして見えないの? (中央放射線科) 7月14日/1回/15人
講座 No.20	それでもあなたはタバコを吸いますか? (中央放射線科) 6月6日、19日/2回/456人
講座 No.21	切らずに治す放射線治療とは! (中央放射線科) 7月14日/1回/15人
講座 No.23	ジェネリック薬品とは? (薬剤科) 7月9日、10月10日、10月28日、1月20日/4回/151人
講座 No.26	眼科検査について (医療技術科) 8月4日/1回/11人
講座 No.27	眼精疲労について (医療技術科) 8月4日/1回/11人
講座 No.28	口腔ケアって何だろう? (医療技術科) 11月1日、27日、1月15日/3回/52人
講座 No.29	飲み込みの障害のある方への対応とリハビリ (リハビリテーション科) 11月27日/1回/10人
講座 No.30	大腿骨頸部骨折の受傷原因から考える転倒予防 (リハビリテーション科) 10月10日/1回/52人
講座 No.32	高次脳機能障害を知っていますか? (リハビリテーション科) 7月17日、8月21日、12月10日/3回/66人
講座 No.33	認知症の方への対応とリハビリ (リハビリテーション科) 11月14日/1回/31人
講座 No.38	未病と検査 (臨床検査科) 4月24日、5月10日、11月10日、1月21日/4回/113人
講座 No.41	健康診断の血液検査結果の見方 (臨床検査科) 5月30日、10月24日、11月7日、2月18日/4回/112人
講座 No.42	心臓・血流のはなし (臨床検査科) 9月8日/1回/13人
講座 No.45	糖尿病と食事療法 (栄養科) 2月26日/1回/45人
講座 No.49	家庭でできる感染予防 (看護部) 6月18日、24日、7月10日、23日、8月5日、26日、9月7日、10月29日、 11月6日、28日、12月2日、9日、25日/13回/510人
講座 No.51	在宅看護の実際 (看護部) 6月5日、3月13日/2回/29人
講座 No.52	褥瘡 (とこずれ) ・ストーマ・失禁の管理 (看護部) 6月5日、12月5日/2回/36人
講座 No.55	生命の誕生・いのちの大切さ (看護部) 11月14日、12月9日/2回/239人
講座 No.57	医療費相談～医療費について考える～ (地域連携室) 5月13日、12月17日/2回/48人



# お知らせ

## 【院内ギャラリーに展示しませんか】

当院では、「来院される皆さんに心地よくつらさの空間をご提供したい」との思いから、院内ギャラリーを設置して、地域で活動している団体や個人の方々の作品を展示しています。現在、平成26年7月、6月、9月の展示申込を受け付けていますので、展示をご希望される方は、病院事務局までお問い合わせください。  
平成26年10月～平成27年3月展示分の一次申込み及び抽選は、平成26年7月1日（水）に実施します。詳しくは、当院のウェブサイトをご覧ください。



お問い合わせ：病院事務局（内線2221）

## 【診療報酬が一部変更となりました】

平成26年4月1日から診療報酬の改定により、無償サービスの一部が変更になりました。診療報酬改定とは、2年に1度の生体医療の進歩により施行されるもので、今年度は診療料、再

診料、入院基本料等の一部が改定されました。これにより、窓口にてお支払いいただく金額が一部変更となりますのでご了承ください。

## 【病診連携予約をご利用ください】

地域連携では、地域の医療機関からの紹介予約は、専用の予約枠を受け付けています。診療所等を開設した患者さんが、診療や検査の結果からさらに当院での診療が必要場合に紹介いたします。ご予約も取りたいとのこと

より持ち病院内の予約となります。なお、病診連携予約につきましては、患者さんから直接予約を受け付けることはできませんのでご了承ください。

## 【医師の人事異動について】 新任日：平成26年3月13日 就任日：平成26年4月1日

診療科	退任医師名	就任医師名	診療科	退任医師名	就任医師名
礼拝・総合内科	比企 聖人	菅野 昌	循環器内科	吳野 謙二	藤野 寛太
	藤地 忠	吉井 孝子		初島 良一	山田 浩介
	竹田 裕介	廣川 昌夫		久野由 洋	梅本 健安
呼吸器内科	梶辺 勇	内川 理史	心臓血管外科	岸野 文	松本 弘光
	藤原 誠子	藤原 誠子		植田 人利	藤本 純子
消化器内科	正由 薫	吉澤 広人	薬剤科	松野 肇	
	五味 雅子	森田 智史		藤原 誠子	若口 敬
腎内科	菅野 文子	吉谷 麻衣子	臨床研修医	内田 守由	三谷 剛
	藤原 浩太郎	山本 裕輝			

### 総合相談センター ～こんな相談を受け付けています～

- **結婚相談** 専任相談員による結婚相談（内線2204）  
お申し込みと費用が別々です。お申し込みは無料です。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。
- **結婚相談員**（内線2204）  
お申し込みと費用が別々です。お申し込みは無料です。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。
- **結婚相談員**（内線2204）  
お申し込みと費用が別々です。お申し込みは無料です。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。

日時：月曜日～金曜日 9:30～16:00（場所は1階正面玄関入って、すぐ右手です。お電話にもお答えいたします）

---

### その他の院内の相談は…

- **看護相談** 看護相談室（内線2128）  
お申し込みと費用が別々です。お申し込みは無料です。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。
- **理学療法** 理学療法科（内線2128）  
お申し込みと費用が別々です。お申し込みは無料です。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。
- **作業療法** 作業療法科（内線2128）  
お申し込みと費用が別々です。お申し込みは無料です。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。
- **言語聴覚** 言語聴覚科（内線2128）  
お申し込みと費用が別々です。お申し込みは無料です。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。
- **リハビリテーション** リハビリテーション科（内線2128）  
お申し込みと費用が別々です。お申し込みは無料です。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。
- **介護保険** 介護保険課（内線2221）  
お申し込みと費用が別々です。お申し込みは無料です。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。

---

### 各種教室の紹介

当院では、地域の方々に合わせて各種教室を開催しています。お気軽にお問い合わせください。お問い合わせ先は、各教室の担当までお問い合わせください。

- **高齢者教室** 高齢者教室（内線2146）  
日時：毎月第1大曜日 19:00～19:30
- **子育て教室** 子育て教室（内線2146）  
日時：毎月第1大曜日 19:00～19:30
- **子育て教室** 子育て教室（内線2146）  
日時：毎月第1大曜日 19:00～19:30

---

### 出前講座のご紹介

当院では、地域の方々に合わせて各種講座を開催しています。お気軽にお問い合わせください。お問い合わせ先は、各講座の担当までお問い合わせください。

- **高齢者講座** 高齢者講座（内線2221）  
日時：毎月第1大曜日 19:00～19:30
- **子育て講座** 子育て講座（内線2221）  
日時：毎月第1大曜日 19:00～19:30

---

### <富士市立中央病院の理念>

富士市立中央病院は、地域の医療機関として、市民の皆さまより信頼され、愛される病院として、常に向上を目指しています。

### <富士市立中央病院職員宣言>

- 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
- 私たちは、知識とスキルを磨き、自己研鑽を怠りません。
- 私たちは、健康、医療、介護などについて、互いに学び合い、患者さまの健康を最優先とします。
- 私たちは、患者さまの心と体の安全を第一とし、常に安全を確保します。
- 私たちは、相互信頼を基に、チームを築き、互いに助け合い、患者さまの健康と安全に努めます。
- 私たちは、患者さまの健康と安全を第一とし、常に安全を確保します。

### <平成26年度病院指針>

新しい病院と市民の信頼、地域医療の発展を期す。

**富士市立中央病院**  
**病院だより**

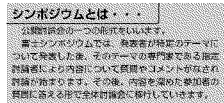
第25号  
発行：平成26年7月20日  
〒417-8567 富士市高町50  
電話 0545-62-1131 FAX 0545-61-7377  
E-mail: info@fuji-shizuoka.jp  
http://www2.city.fuji-shizuoka.jp/byein/  
富士市立中央病院 電話 2221-2222

Fuji City General Hospital

**富士シンポジウムを開催しました**  
— 討論会で最新医療の絆を深めました —

第29回富士シンポジウムを8月12日、富士市立中央病院にて開催しました。このシンポジウムは、中央病院が昭和59年8月に現在の地に新築移転したことを機に、地域の医療機関との連携機能を一層高めることを目的に富士市医師会との共催で開催されました。医療の質向上のために富士市医師会と中央病院の医師が共同の成果について話し合う場として、また医師同士の交流の場としての役割も果たしてきました。今年度も各診療科目からの様々なテーマが取り上げられ、中央病院から3回、富士市医師会から3回の発表が行われました。富士市医師会と中央病院の医師が共同のテーマについて、4回ずつの発表を行うことができ、とても有意義なものとなりました。

今後ともシンポジウムを継続することで、情報の共有と地域の医療連携をさらに強化してまいります。



- 最新のテーマ**
- 中央病院 「当院における新血管内治療」「富士市立中央病院における27年前の小児溺水と救急医療の進歩的実践」「前立腺癌に対する新しい内分泌治療薬の使用経験」
  - 富士市医師会 「心臓病治療のリアルワールド」「閉塞性肺疾患の最新治療と治療の現場から」

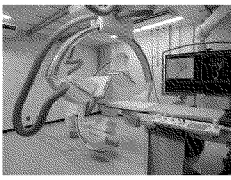
**病診連携 ～2人主治医制～**

患者さんの病状や検査結果を「診断科」が「病診連携」で連携し、専門医と連携し、病診連携を2人の主治医が専ら支えていく体制です。この体制により、患者さんの病状をよりよく把握し、治療の質を向上させていくことが期待されています。

**最新機器紹介**  
**血管撮影装置を導入しました**

血管撮影装置とは、通常のX線写真では写すことができない血管を、造影剤を注入しながら撮影することで、血管を写し出すことができるようにした装置です。近年、血管撮影装置の発達により、その役割は診断から治療へと進化し、主に脳血管や閉塞の原因に使用されています。血管内治療のニーズの高まりもあり、今後、様々な治療や診断への有用性がますます期待されています。

当院では、この最新鋭血管撮影装置 Artis Q BA twin（ドイツ・シーメンス社製）を導入しました。本装置は、高精度ハイパワーX線管と受信機に大視野フラットパネル検出器を搭載することにより、最新のデジタル画像処理を行うことで非常に高い画質の撮影ができると同時に、使用する造影剤量が低く抑えられています。また、これらX線撮影装置が2セット取り付けられてい



**血管撮影装置を用いた高度医療**  
**「脳血管内治療」とは？**

脳の疾患といえば脳梗塞や脳内出血などが知られていますが、それらの原因となる血管に対しての外科的治療として、今まで主に手術を用いて手術を行う方法がとられてきました。しかし、近年の技術革新に伴う治療法の進歩により、開頭せずに血管内で治療ができるようになりました。当院では脳卒中治療科の導入により、本年度より脳血管内治療を本格的に開始しました。脳血管内治療の対象となる疾患には様々なものがありますが、今回は脳動脈瘤の治療方法について紹介します。

脳動脈瘤は脳の動脈に発生するこぶ（瘤）のことです。破裂すると脳内出血を引き起こします。従来治療法はクリッピング術とコイル治療（脳血管内治療）です。クリッピング術は、頭蓋を開いて、瘤を挟んで取り除く手術です。コイル治療は、血管内から動脈瘤を治療する方法です。血管内治療は、患者さんの負担が身体的にも精神的にも大幅に軽減されます。

その他にも、疾患によって狭くなった血管を拡張したり、詰まった血管を溶かすなどして血管を再び開通させたりすることも用いられます。

**富士市立中央病院外来日課表**

診療科	初診	再診	手術	検査	その他
内科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	水曜日の夜間急診は予約制のみ
外科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
小児科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
産婦人科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
皮膚科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
泌尿科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
耳鼻科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
眼科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
歯科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
放射線科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
検査科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
薬剤科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
理学療法科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
作業療法科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
リハビリ科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
看護科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
栄養科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
放射線科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
検査科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
薬剤科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
理学療法科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
作業療法科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
リハビリ科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
看護科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	
栄養科	山田 隆	山田 隆	山田 隆	山田 隆	

●医師の人事異動について 発効日：平成26年6月30日 発効日：平成26年7月1日

診療科	前任医師名	新任医師名	診療科	前任医師名	新任医師名
心療内科	田中 士	田中 士	産婦人科	坂本 伸子	橋本 伸子
小児科	五十 利雄	五十 利雄	泌尿科	中島 由理	吉沢 剛志
外科	市原 利平	市原 利平	消化器科	大塚 広隆	坂川 友広
	今泉 浩太	今泉 浩太	産婦人科	井出 瑠衣	井出 瑠衣

**各科紹介**  
**心臓血管外科 チーム一丸となって成功に導く**

現在、心臓血管外科では、大学からの派遣医師（指導教授をきむ）をおわせ4名の医師で日々の診療にあたり、心臓病の診断は、名前のとおり心臓・心電図に対する手術が中心ですが、狭心症・心筋梗塞に対する冠動脈バイパス手術、弁膜症に対する弁膜手術、動脈瘤・動脈硬化・動脈硬化に対する人工血管置換術および閉塞性動脈硬化症に対するバイパス手術などを行っております。心臓手術は決して医師ひとりで行うものではありません。循環器内科や麻酔科の医師、臨床工学技士、看護士など、多くの専門性の高い各部門の力が一つになることで、チームとして手術が成功に導かれるものと考えております。その間に、チームでの勉強会や手術シミュレーション、またWeb Lab（ウェブラボ）といわれる動物の心臓を用いた練習などを行っております。今後も大学病院との連携を密にし、更に難病の多い心臓病を日々精進し、富士市民の心臓（ハート1）を守ってまいります。

**所属紹介**  
**中央放射線科 周囲への気配りと思いやりの医療**

中央放射線科は、CTやMRIといった放射線や超音波や造影剤を用いた画像診断装置を使用して、診断を行うための画像検査や、高エネルギー放射線を用いた治療を行う放射線治療科の集まりです。

私たちの要求されている業務は、高精度な診断や治療を行うための情報の提供です。最新の放射線診断機器・治療機器は、必ずしも十分に發揮できるまで、放射線治療科は常に最新の技術の取得に努めています。そして、これらを用いて患者さんの健康を維持するためには、他部門との連携も重要であり、全てのスタッフがチーム医療の一員としての役割を持つ必要があります。私たちは常に患者さんの権利を尊重し、優しい心を持って、安全な医療環境と先進的な医療技術、診療情報を提供することを目指して、技術

のみでなく、人間的な医療の育成も重要な目標としています。

また、地域医療連携を推進するため、近隣の病院やクリニックからの後援依頼を積極的に応じています。

お知らせ

**女性専用の外来(婦人科)の診療について**  
 3月から、女性専用の外来(婦人科)では、子宮がん検診で精密検査が必要と判断された方の診察を開始しました。  
 診療日/火曜日・金曜日  
 受付時間/13:00~14:00  
 地域連携室 ☎52-1131 (内線2916)

**【緩和ケア外来を開始しました】**  
 7月から、在宅で療養中のがん患者さんのために、緩和ケア外来の診療を開始しました。遠征しながら、自分らしい生活を送れるようにサポートしていきます。  
 受付には、診療所轉送の紹介状が必要となります。  
 診療日/火曜日  
 受付時間/9:00~11:00(紹介予約制)  
 地域連携室 ☎52-1131 (内線2916)

**【厚生労働大臣より感謝状を授与されました】**  
 平成28年3月31日に発生した東日本大震災に対して当該が実施した被災者の支援活動等に対し、厚生労働大臣から感謝状が授与されることとなり、4月16日、静岡県庁にて授与が行われました。  
 被災地支援によって培った地産や技術を福島全体で共有し、身を起こす企業等に形を対価できるような、門戸へのつながりからの心がけを大切にしていきたいと思っております。



**【災害派遣医療チーム (DMAT) 研修を受講しました】**  
 5月11日から14日まで国立国際医療研究センターで行われた「平成28年度第1回 災害派遣医療チーム研修」に、静岡県立チームとして参加しました。  
 DMATとは、災害の発生時(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を備えた医療チームで、この研修では、DMATとして活動するために必要な専門的知識や技術を学び、長距離移動や機材が限られたなかでの医療提供の訓練を行いました。  
 今回の受講したほか、1名、指導員と名主さんが参加を希望したことで、研修のチームと合わせて2チーム体制を整えることができました。



**【病院ボランティアさんの活動】**  
 当院は多岐のボランティアの活動の推進により支えられています。患者さんが安心して医療が受けられるよう、様々な活動が行われています。

**ボランティアスタッフ募集中です。**  
 現在、受付、と「緑組」のボランティアスタッフを募集しています。お問い合わせは医療課までお願いします。 医療課 ☎52-1131 (内線2106)

総合相談センター ~こんな相談を受け付けています~

●**育児相談**：がん治療、がん予防相談 内線2046  
 ひろきんごこ子育てがはるかにやわらかく安心できる。解決していくお悩みを聞き、お悩みの軽減、適切な生活に対するアドバイス、育児の支援を行います。  
 ●**医師の悩み相談**：がん予防相談 内線2916  
 医師さんのお悩み相談の相談。患者さんとの心、医師の生活の事情、病院業務内での、医療ワークライフバランスの相談を行います。  
 日時：月曜日~金曜日 8:30~18:00 (お休日は1階正産婦人科にて、すぐお越しください。お気軽にお声かけください。)

- その他の病院内の相談は...**
- がん相談**：がん相談 (1階がん外来窓口) 内線2046  
 月~金 8:30~17:00
  - がん相談**：がん相談 (1階がん外来窓口) 内線2046  
 月~金 8:30~17:00
  - がん相談**：がん相談 (1階がん外来窓口) 内線2046  
 月~金 8:30~17:00
  - がん相談**：がん相談 (1階がん外来窓口) 内線2046  
 月~金 8:30~17:00
  - がん相談**：がん相談 (1階がん外来窓口) 内線2046  
 月~金 8:30~17:00
  - がん相談**：がん相談 (1階がん外来窓口) 内線2046  
 月~金 8:30~17:00
  - がん相談**：がん相談 (1階がん外来窓口) 内線2046  
 月~金 8:30~17:00
  - がん相談**：がん相談 (1階がん外来窓口) 内線2046  
 月~金 8:30~17:00
  - がん相談**：がん相談 (1階がん外来窓口) 内線2046  
 月~金 8:30~17:00
  - がん相談**：がん相談 (1階がん外来窓口) 内線2046  
 月~金 8:30~17:00

**富士市立中央病院の理念**  
 富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまより高い信頼が得られ、成長・発展し、共に、医療の向上に励みます。  
**富士市立中央病院職員宣言**  
 1. 私たちは、患者さまの権利を尊重し、自己満足を「患者さま」に求めず、  
 2. 私たちは、思いやりの心で、一人ひとりに寄り添い、心を通わせます。  
 3. 私たちは、健康、治療、看護などについて、分かりやすく説明し、患者さまの意思を尊重します。  
 4. 私たちは、患者さまの命や健康を守り、安心・信頼を築き、喜び、希望を創ります。  
 5. 私たちは、相互信頼としての医療の心と、患者さまの健康、コスト削減を行う、病院の発展に努めます。  
 6. 私たちは、医療の発展に貢献し、地域の医療文化の発展に努めます。  
**平成28年度経営方針**  
 「未来の医療と充実した暮らし」をともに実現する。

**京島園**  
 富士のふもとに広がるリゾート  
 2013 殿堂入り  
 全店年中無休  
 0120-08-2989  
 www.kojimadaira.com

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推薦するものではありません。  
 お問い合わせ：病院経営課 内線2221・2222





おしらせ

がん患者サロンの開設しました

がんと闘われた患者さんとそのご家族が、同じ体験をした方との出会いにより、生きるということに対して互いに励まし合い、より暮らしやすく暮らすことができるようになります。

当院に設けられた患者さんとの交流の場、ご希望の方はご予約ください。がん患者さん同士で支え合える場、学びの場となるよう、がん相談棟を借りてお茶会を開催します。

毎月第4水曜日 14:00～16:00  
第1会議室（正面玄関を入った右手側になります）



患者図書コーナーを設置しました

第1会議室前の待合スペースの一部に、患者図書コーナーを設置しました。

ご病室によりがん相談のDVDをお貸しすることもあります。

相談室 内線 2916



これからの院内ギャラリー

月	展示名	出展者	作品形式
11 - 12月	書展	相谷 七三	大字書
1月	押花展	押花グループ美	押花絵
2 - 3月	MOA美術館 富士児童作品展	MOA美術館富士児童 作品展実行委員会	絵画、書写



イベントスケジュール

<b>第19回市民公開講座</b> テーマ 馬蹄の仕組と病気の 一蹴蹴蹴蹴蹴蹴 "馬" にみられない蹴蹴蹴蹴蹴蹴 講師 東京慈恵会医科大学客員教授 青木昭明氏 日時 平成26年10月31日(金) 18:30開演 19:00閉演 場所 ロゼシアター小ホール 入場料 無料(当日直接会場へ) 病院総務課 内線 2216	<b>糖尿病予防キャンペーン</b> 糖尿病患者にのみ、糖尿病予防の 目的とした血圧測定・血糖測定・資料 配布・健康相談をおこないます。 日時 平成26年11月9日(土) 12:00～14:30 場所 イオンタウン富士南 1階サウスコート 病院総務課 内線 2222
---	---

総合相談センター ～こんな相談を受け付けています～

- 総合相談：がん相談、ふくす相談 内線 2046  
ひと暮らしに不安を感じる方や内容を先に話す。相談していいか確認をします。必要に応じて、医師の生活に関与できる状態に、専任の職員が対応いたします。
- 医師の相談：(予約あり) 内線 2918  
患者さん自身の病状の相談、治療法などの心配、治療後の生活の準備、病院内生活の不安、医療ソーシャルワーカーが相談にのります。

その他の病院内の相談は...

- がん相談：がん相談 (1階東急7口西側)  
月～金 8:30～17:00  
相談の内容は、医師科 内線 2152
- 薬剤相談：薬剤相談 (3階薬学課)  
月～金 7:30～17:00  
お問合わせ、薬剤科 内線 2146
- 検査相談：検査結果の相談 (検査受付センター)  
月～金 8:30～17:00  
お問合わせ、検査科 内線 2297
- フックアップ相談 (がん相談支援センター) (1階東急7口)  
月～金 8:30～17:00  
お問合わせ、内務課 内線 2285
- 救急相談：救急相談 (3階救急科)  
月～金 8:30～17:00  
お問合わせ、救急科 内線 2255

各種教室の紹介

- 患者さんとご家族を対象とした学術的講座を開催しています。  
1) 月曜、講義内容については総合相談にお問合わせください。  
2) 水曜に「お茶会」を開催し、患者さん、ご家族も中心とした懇話会を開催します。
- 病棟内教室：お問合わせ、総務課 内線 2146  
3階 東急7口西側 19:00～19:50  
第33回聴覚障害者交流会 (5月5日)  
11:15、12:15、1:20、2:17、4:01
- アメリカ語講座 内線 2337  
5階 東急7口西側 19:00～19:50

出前講座のご紹介

病棟内を学術、福祉、社会の発展に貢献し、患者さんやご家族、医療従事者へ貢献します。ご希望は総合相談センターへお問い合わせください。

● 詳細は総合相談センターへお問い合わせ。相談室 内線 2222

富士市立中央病院の理念

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の健康と生活の向上に貢献し、社会の発展に貢献します。

富士市立中央病院職員宣言

1. 私たちは、患者さまの権利を尊重し、自己決定を最大限に支援します。
2. 私たちは、誇りを持って富士市医療に心身を捧げます。
3. 私たちは、患者さまの健康、幸福とつながり、誇りを持って、患者さまの健康を支援します。
4. 私たちは、患者さまの希望や意向を尊重し、適切な治療、ケア、ケアを提供します。
5. 私たちは、相互に支えあつたチームで、患者さまの健康、ケア、ケアを支援します。
6. 私たちは、相互に支えあつたチームで、患者さまの健康、ケア、ケアを支援します。
7. 私たちは、患者さまの健康と生活の向上に貢献します。

平成28年度経営方針

「未来の健康と生活の向上に貢献」をテーマに経営の推進

経営戦略 2025年～2030年  
経営方針 2025年～2030年  
経営戦略 2025年～2030年  
経営方針 2025年～2030年

富士市の成長戦略を推進  
2013 経営入り  
経営戦略 2025年～2030年  
経営方針 2025年～2030年

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。  
お問い合わせ：病院総務課 内線 2221・2222

【第27号】平成27年1月20日 発行

### 富士市立中央病院 病院だより

第27号  
発行：平成27年1月20日  
〒417-8567 富士市西町50  
電話 0545-62-1131 FAX 0545-61-7377  
E-mail: gjy@med.fujishizuoka.jp  
http://www2.city.fuji.shizuoka.jp/byein/  
E-mail: byein@med.fujishizuoka.jp 受付時間 9時～22時

Fuji City General Hospital

### 院内コンサート

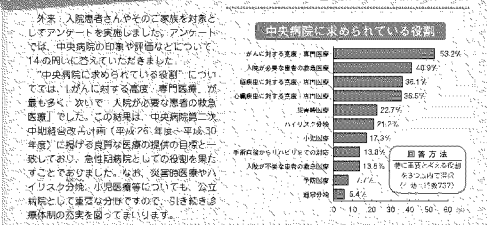
平成26年12月16日(火)  
1階エントランスホール

入院患者さんや付き添いのご家族、地域の皆さんに音楽で楽しいひと時を過ごしていただくために企画いたしました。市産で広く愛されている「元志園ワンドアンサンブル」の皆さんが「レイト・ナイト」の「アナと雪の女王より」♪1にじいろ（花守とアン主豊樹）、「クリスマス夢列車」などを演奏し、会場は大いに盛り上がりました。

### 患者サービス ニーズの把握

平成26年9月の4日間実施  
回収数：外来747枚、入院210枚

患者サービスとして、入院患者さんやそのご家族を対象としたアンケートを実施しました。アンケートでは、中央病院の印象や評価などについて、14の項目にご記入いただきました。



アンケートの詳細は、当院ウェブサイト（http://www2.city.fuji.shizuoka.jp/byein/）に掲載しています。

### がん診療への取り組み

#### 地域連携クリニカルバスの利用をはじめています

地域連携クリニカルバスとは、共同診療計画のごことで、かかりつけ医と中央病院の医師が連携して統一した治療を行うためのものです。

中央病院で手術を受けた後、状態が安定しているときの日常の診察はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は中央病院を受診していただくようになります。それらの医師間連携の基に、患者さんに地域連携クリニカルバスを希望していただき、医師が病状や治療内容を記載します。医師は患者さんに状況を説明すると共に、相手の医師にも診療内容を報告し、情報を共有します。地域連携クリニカルバスの利用により、2人主治医師のもと、患者さんが安心して治療を受けられる医療を提供します。

がん診療に関する相談窓口：クリニカルバス相談センター  
門が、大塚、沼田、山崎、乳がん、緩和ケア  
地域連携室 内線 2916

### セカンドオピニオン外来を開始しました

セカンドオピニオンとは、患者さんが納得した治療を受けたい場合がある。現在の自分の状況や治療の進め方について、別の医師の意見を聞くことです。

セカンドオピニオン外来では、現在受けている診断・治療に関する相談のみで、検査や治療は行いません。そのため、診療情報提供書と検査資料（検査データ・フィルム等）が必要となりますので、事前に現在受診されている主治医より予約をお申し込みください。

また、通常の診療と異なり保険外診療となります。

セカンドオピニオン相談料（1件） 30分以内 5,400円、30分を超え1時間まで 10,800円  
※別途資料料として2,160円が必要となります。

具体的な手続きなど詳細につきましては、地域連携室までご連絡ください。  
地域連携室 内線 2916

### 輸血を拒否される患者さんへ

当院では、患者さんご自身が宗教上の理由により輸血（血液の輸注）を拒否される場合、その意思を尊重し可能な限り輸血を避けようとする努力をいたします。また、治療をお断りすることはありません。

しかし、輸血以外の救命手段がない緊急の事態に突いた場合には、いかなる理由があろうとも、救急のための輸血を行います。その際、輸血同意書が得られない場合でも行います。同意書・無輸血治療に関する同意書は、お預かりいたします。

### 富士市立中央病院外来診療目録表

平成27年1月1日現在

科名	担当医師	時間	備考
内科	山本 孝、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
消化器内科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
循環器内科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
呼吸器内科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
泌尿器内科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
皮膚科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
小児科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
外科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
整形外科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
眼科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
耳鼻咽喉科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
歯科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
理学療法	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
作業療法	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
言語聴覚	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
放射線科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
検査科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
薬剤科	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
中央病棟	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	
緩和ケア	山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之、山本 貴之	午前8時～午前11時	

### 各科紹介

#### 代謝・内分泌科

代謝・内分泌科の専門分野は、血液・脂質内科と糖尿病代謝内分科に分かれています。所屬医師は7名（藤井裕也、山崎秀樹、清塚大輔、石井裕子、稲垣孝典、廣田雅英）です。

内科総合専門医は2名で、糖尿病専門医は1名です。

血液・癌病内科の外来を受診している患者さんの総数は1,000名を超えています。6A病棟には血液室が3床あり、白血病患者さんの治療を行っています。高齢化に伴って慢性肝臓病、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群の患者さんは増加しています。白血病における化学療法は、最新鋭のモノクローナル抗体療法や新薬が多く用いられ、患者さんの治療成績の向上につながっています。

糖尿病代謝内分科の外来を受診している患者さんの総数は約2,000名です。糖尿病治療薬では新たにSGLT-2阻害剤という治

療薬の使用が可能になりました。同科の対応患者さんは限定されていますが、糖尿病治療においては新たな治療薬が導入されました。また、血糖値を制御的に持続して測定できるモニタリング装置（icg-2）を2台保有しています。血糖値の細かい管理や管理、低血糖の監視、予防に役立っています。

当科においても地域の基幹病院としての病診連携を進め、地域の医療に貢献したいと考えています。

### 所属紹介

#### 臨床工学科

病院内にはさまざまな医療機器が配置されており、維持に専門的な知識と技術が必要とされます。臨床工学科では、生き生きとした医療機器の管理装置をはじめとした医療機器の操作や保守管理について、臨床工学科士6名に対応しています。

主な業務には以下のようなものがあります。

- 血液浄化に関する業務…人工透析、血液交換、血液ろ過、透析的血液ろ過装置等の操作。
- 生命維持に関する業務…人工呼吸器の管理、人工心臓調整、自己血液回収装置の操作。
- 心臓カテーテル業務…冠動脈造影検査、Eコー、補助循環装置等の操作。
- 手術室業務…手術室内の医療機器の管理、内視鏡手術装置や顕微鏡の初期調整。上記の業務について、チーム医療の一員として24時間体制で対応しています。

その他、病棟内で用いるさまざまな医療機器、ペーサーカー業務として手術室での対応も行っています。

また、臨床工学科士はチーム医療のなかで、医療スタッフへの教育にも力を入れています。今後も安全な医療の提供を目指し、努力を惜みず頑張っていくと思います。

### 医師の人事異動について

平成26年10月31日

診療科	退任医師名	新任医師名
診療科	田邊 啓	一
外科	谷本 圭一	坪井 一人
外科	藤田 啓	藤田 啓
診療科	一	村上 正史

平成27年1月1日

診療科	退任医師名	新任医師名
外科	谷本 圭一	坪井 一人
外科	藤田 啓	藤田 啓
診療科	一	村上 正史

